

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和7年度）【総括表】

◆基本方針別取組状況

【達成状況（自己評価）の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた ○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組みも含む）
	項目数	達成状況		
1 心身の健康と交流の場づくり	8	◎	1	○食事サービス、各種サロン、介護予防体操、歌声喫茶等を継続・充実した。 ○高齢者、子育て世帯、障害のある方など、多様な住民が参加できる交流と健康づくりの場を提供した。 ○子ども食堂、フードパントリー、夏休みカレー食堂、もちつき大会を通じ、子ども・保護者の支援と世代間交流を推進した。 ○敬老会や地域行事、関係機関・自治会と連携したサロン活動を進め、参加規模の回復と孤立予防、地域のつながりの再構築につなげた。 ○「横橋貝塚100年祭」多くの地域の方の協力のもと開催できた。（さつきが丘・宮野木台地区）
		○	5	
		△	2	
		×	0	
2 支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	14	◎	0	○「助け合い活動」を軸に、敬老会、食事会、子育て・いきいきサロン、健康づくり、買物支援等を継続し、住民同士の交流と孤立予防を進めた。 通いやすさを考慮し、いきいきサロンの増設（カフェいこい こてはし台地区） ○自治会、民生委員、あんしんケアセンター、福祉施設等と連携し、相談先の周知、講演会、相談ブース、地域ケア会議、見守り活動を実施した。 花見川地区で新規4か所11自治会で地域ケア会議を実施した。 ○避難行動要支援者の見直しや支援者訪問、防災訓練・研修を通じ、災害時に助け合える体制づくりを推進した。 ○「ご近所のたすけあい」や団地内の生活支援、広報による啓発を行い、地域福祉と防災力の向上を図った。
		○	11	
		△	2	
		×	1	
3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	7	◎	0	○広報紙を写真中心で見やすい紙面へ刷新し、掲示板、地域行事、文化祭でのパネル展示を活用して活動を周知した。 ○人員拡充に関する特集記事を掲載し、新たな参加希望者の確保につなげた。SNSは自治会と協力し、事例・意向調査を踏まえて活用方法を検討した。 ○健康体操教室を開催し、介護予防とともに担い手の確保・技能向上を図った。 ○子どもカフェを継続し、子どもの居場所づくりと、地域住民・福祉活動推進員・関係者のつながりづくりを進めた。 ○こども工作教室「将棋をやってみよう」を開催。（検見川地区）
		○	4	
		△	2	
		×	1	
4 安全・安心なまちづくり	2	◎	0	○各避難所運営委員会に参加し、避難所開設訓練、備品調査、運営研修を通じて、災害時の対応力向上を図った。 ○自治会の自然災害対策や防火防災組織のマニュアル整備状況を調査し、先進的な取組事例の共有・展開を検討した。 ○毎月の防災・防犯パトロール、歳末合同パトロール、防災訓練を実施し、住民・自治会の連携を強化した。 ○災害時の地域連携に関する研修、防犯カメラの設置等を進め、平時から安全・安心を支える体制づくりに取り組んだ。 ○県立特別支援学校主催の防災イベントに参加（こてはし台中学校地区）
		○	1	
		△	1	
		×	0	
今年度の振り返り	31	◎	1	今年度も、地域福祉活動の拡充を助け合い活動、介護予防、子育て支援、防災・防犯の各分野に取り組んだ。食事サービスや各種サロン、子ども食堂、地域行事等を通じ、多世代が参加できる交流の場を確保するとともに、助け合い活動や見守り、買物支援等により、日常の支え合いを推進した。自治会、民生委員、あんしんケアセンター、福祉施設等との連携を深め、地域ケア会議の開催、出張相談会や避難行動要支援者への対応、防災訓練・防犯パトロールを実施した。また、広報紙の刷新、掲示板・地域行事・SNSの活用を通じて活動を発信し、担い手の確保・育成にも努めた。参加規模の回復や新たな参加者の獲得など、地域のつながりと支え合いの基盤を再構築する一年となった。
		○	21	
		△	7	
		×	2	
今後の課題と方針	担い手の高齢化や人員不足は、多くの地域福祉活動に共通する課題である。既存の活動を継続・充実させるため、活動内容や運営方法の見直しによる負担軽減を図るとともに、広報紙や掲示板、自治会等を通じて活動の周知を進め、新たな参加者や協力者の確保・育成に努める。 また、地域には子ども、高齢者、障害、健康づくり、防災など、さまざまな分野で地域福祉を支える多様な団体や関係者が活動している。それぞれの主体性や強み、役割を尊重しながら、分野や組織の枠を越えて緩やかにつながり、必要に応じて連携・協力することで、地域課題に柔軟に対応できる体制の構築を進める。 多様な主体が相互に支え合い、それぞれの力を生かしながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできるまちづくりを推進する。			

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	7月8日（火）	令和7年度花見川区支え合いのまち推進計画の活動計画について
第2回	12月15日（月）	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）中間報告 ・花見川区支え合いのまち推進協議会だより（第27号）原稿案について ・次期（第6期）地域福祉計画について
第3回	3月9日（月）	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）実績報告 ・次期地域福祉計画における区支え合いのまち推進協議会について ・花見川区支え合いのまち推進協議会だより（第27号）発行について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第27号	3月19日（木）	発行部数：5,710部 主な配布先：各町内自治会へ郵送、窓口配布270部

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

こてはし台地区部会
「こてはし台小学校 4年生の福祉授業」

令和7年10月7日、こてはし台小学校にて、4年生75名を対象とした「地域福祉を学ぼう」の授業が行われました。講師は、こてはし台地区部会の大森地区部会長と中沢福祉活動推進員が務めました。

大森地区部会長の講話は昨年度に続き2回目となり、地域で暮らす一人として福祉にどのように関わっているのか、また「福祉とは何か」について、子どもたちの身近な視点から分かりやすくお話いただきました。中沢さんからは、手話やデフリンピックについてのお話が ありました。

子どもたちは熱心にメモを取りながら耳を傾け、積極的に手を挙げて発言や質問をする姿が見られました。今回の授業は、子どもたち自身が福祉課題を知り、解決策を考える福祉教育の機会となりました。地域の一員として、自分にできることを考えるきっかけとなれば幸いです。



◆区の地域福祉に関する紹介事例等

さつきが丘・宮野木地区部会「横橋貝塚発掘100年祭」

私たちの憩いの広場である貝塚公園は、国指定史跡「横橋貝塚」を有する公園です。今から100年前の10月25日、この地で国の名だたる学者たちによる発掘調査が行われました。

その記念行事として、「横橋貝塚発掘100年祭」が、さつきが丘公民館と埋蔵文化調査センターの主催により開催され、地域 全体で盛り上げようと当地区部会も参加しました。

公民館内のイベントに加え、小雨が降る中ではありましたが、4000年前に縄文人が生活を営んでいた同じ土の上で、縄文儀式や縄文鍋の試食、縄文地域マルシェを行うことができ、有意義な体験となりました。

また、まつりに先駆けて小・中学校で縄文の授業が行われ、子どもたちが描いた縄文イメージキャラクターを地域のプロ の方に一つの作品として仕上げていただきました。

この貴重な経験と絆を地域の「鏝（かすがい）」とし、心温かい地域を培い、潤していくため、今後も福祉まつりで縄文コーナーを継続し、横橋貝塚への地域愛を未来へつなげていきたいと思っています。



あんしんケアセンター花園×花園みんなのカフェTOMO
「昭和歌謡をエレクトーンと楽しもう」

令和7年11月18日、はなぞの健康会館にて、あんしんケアセンター花園と花園みんなのカフェTOMOとの共催イベントを開催しました。花園みんなのカフェTOMOは、世代を問わず誰もが気軽に集い、自由に過ごせる「第3の居場所」として活動しており、どこでも子どもカフェや認知症カフェの役割も担っています。

当日は15名の参加者とともに、エレクトーンの生演奏に合わせて懐かしの昭和歌謡12曲を歌いました。元気に暮らし続けるためには、人が集い、語り合い、楽しい時間を過ごすことが大切であると、改めて参加者の皆さんと実感できるひとときとなりました。

また、あんしんケアセンター花園と花園みんなのカフェTOMOを知っていただく良い機会にもなりました。今後も地域の方々とのつながりを大切に、あんしんケアセンター花園の周知がさらに広がるよう取り組んでいきたいと思っています。



花見川区赤十字奉仕団 「花見川区民まつり 義足体験コーナー」

花島公園で開催された第33回花見川区民まつりにおいて、初めて義足体験ブースを出展させていただきました。膝下を切断した方が使用する日常用義足を模した体験用 義足を、子どもたちからご高齢の方まで多くの方に装着 して歩いていただきました。

参加者からは、「バランスを取るのが難しかった」「義足で歩くのがこんなに大変だと思わなかった」などの感想が聞かれ、義足で歩くことの難しさを実際に感じていただけたのではないかと思います。

当日は寒く小雨が降る中でしたが、幕張地区中学生 ボランティアクラブの生徒17名に、受付や募金活動にご協力いただきました。大きな明るい声で呼びかける姿に、私たちも元気をもらいました。



産後笑顔向上委員会 「産後のママを笑顔に」

産後笑顔向上委員会は、「がんばる笑顔」より「ほどける笑顔」をモットーに、産後のママが安心して気持ちをゆるめられる時間と居場所を届ける団体です。運営スタッフ3名とボランティア2名で花見川区を中心に活動しています。

活動内容は、月1回の「ママのホットタイム」、抱っこ・おんぶレッスン、生理のお話し会、男子の親のための性のお話し会などを開催しています。「ママのホットタイム」は、レンタルスペースを利用した予約不要・出入り自由の場で、スタッフがお子さまを見守ります。ゆっくり過ごしたり、おしゃべりしたり、お昼ごはんを持参しても大丈夫です。

代表の木内は現役看護師、抱っこおんぶの専門家として体調の相談や抱っこ紐の調整など専門性を活かした支援を行っています。他の2名も現役産前産後ヘルパーとして、日常に寄り添ったサポートを行っています。

「ママのホットタイム」は毎月第1火曜日10時から、空の家（花見川区幕張町3-870）で定期開催中です。調乳用のお湯もご用意していますので、身軽にお気軽にお越しください。



あんしんケアセンターにれの木台 「健康教室」

令和7年4月より、「あんしんケアセンターにれの木台」の運営法人が変更となり、引き継ぎを経て再スタートしました。現在、朝日ヶ丘地区と西小中台地区の2か所で、健康づくり や体力の維持、介護予防意識の向上、交流の創設を目的とした「健康教室」を毎月開催しています。

教室では、脳年齢や体力測定などの健康チェックをはじめ、感染症予防講座、健康テレビゲーム体験、人生会議、健康コンサートなど、健康づくりに関するさまざまな活動を企画しています。

参加者は毎回10～15名程度ですが、コンサートは特に人気が高く、25名の方にご参加いただきました。終了後の アンケートでは前向きな感想が多く寄せられ、皆さんの健康 維持や体力づくりへの意識の高さがうかがえます。

今後も、地域の皆さんが気軽に参加でき、楽しく学び、つながりの場となるよう、健康知識や介護予防に役立つテーマで活動を続けていきたいと思っています。

